



The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers

電子情報通信学会 特別号 April 2023

情報・システムソサイエティ誌

IEICE INFORMATION AND SYSTEMS SOCIETY JOURNAL

## 2023年度ソサイエティ活動

情報・システムソサイエティ次期会長

藤井 俊彰

名古屋大学



情報・システムソサイエティ(以下 ISS)は、情報処理技術とコンピュータ・通信・人間を融合したシステム化技術に関する基礎から応用までを研究領域としており、会員に研究発表と交流の場を提供し、情報技術分野の持続的な発展と社会問題解決に貢献することを目的とする最大規模のソサイエティです。2023年度は、前年度まで行ってきた論文誌の強化や国際化施策を継続するとともに、after コロナ時代における新たな研究会の模索や、その知見の総合大会・FIT への展開、企業連携、メンターシップ WG などの新しい施策にも挑戦しながら活動を展開してまいります。

### (1) 論文誌

論文誌は研究の最終成果であり、引き続き質・量ともに充実に努めます。英文論文誌(ED)では、2020年1月から全論文をオープンアクセス化しており、各種指標について2021年と2016年との比較では、アクセス数は約9倍、ScopusのCiteScore値は0.8から1.6へ、インパクトファクターは0.41から0.56へといずれも上昇しており、オープン化の効果が見え始めています。和文論文誌Dでは、質の高い査読の継続、査読期間の短縮化に加え、研専活動との共活性化、学生やジュニア会員からの投稿の活性化についても検討を続けてまいります。

### (2) 研究会

現在、ISSには26の研専(特別研専を含む)があり、各技術分野に特化した研究会を開催し、専門性の高い研究発表、人的ネットワークの形成の場を提供してきています。2022年はハイブリッド開催が7割に増えるなど現地開催・オンライン開催の両方の良さを兼ね備えたafter コロナ時代の研究会の姿が見えてきました。一方で運営コスト増やオンラインと現地のバランスの取り方などの課題も見えてきています。これらの新たな研究会のあり方の模索を始め、大会との連携、企業連携、広報等の各課題に挑戦的に取り組んでまいります。

### (3) 総合大会とFIT

2022年度のFITは完全ハイブリッド開催となり、前年から1割増の559件の申し込みがありました。with コロナ、after コロナ時代における大会の一つの方向性が示されたのではないかと思います。また、総合大会における学生ポスターセッションも大変盛況であり、引き続きジュニア世代へのサービスを提供し、その研究活動の活性化に努めてまいります。

### (4) 国際化

学会全体として国際化が重要となっていますが、海外会員の減少、本会英文論文誌の投稿数の減少などが見られます。これに対処するため、国内会員と海外会員双方に資するサービスの検討、他学会とのSister Society Agreementの締結、国際会議やワークショップの推進等を実施します。国際会議開催サポート、トップ国際会議対応、MOU対応、連携権利の活用のため、2022年6月より組織を拡充して対応をしているところです。

### (5) メンターシップ WG

前年度からメンターシップWGを設立し、学生や若手研究者に対するトップ国際会議や国際ジャーナルへの論文採択を目的としたメンターシップ活動を支援しています。未来企画委員会の下で、これまで行われてきた複数のメンターシップ活動の情報共有や、旅費・参加費の補助などISSとしての具体的な支援事項の調査を行い、2023年度からメンターシッププログラムの支援を開始する予定としています。

以上のように、ISSでは会員の皆様が会員サービスのメリットを享受し、研究開発や技術開発を円滑に進められるような施策に取り組んでいきます。皆様のご意見をお聞かせいただくとともに、引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 情報・システムソサイエティ誌とは？

本誌は ISS が年 4 回発行しているソサイエティ会員向けの情報誌で、本年 5 月には通巻 110 号を発行する予定です。

内容は、ソサイエティからのお知らせ、研究専門委員会の動向、研究室紹介、フェローの方々による寄稿、連載コラムなど、会員の皆様の役に立つ情報を満載しております。

特に、毎号の巻頭言には、電子情報通信分野の著名な方々から寄稿を頂き、好評を博しております。今後も学生や企業の方などより幅広い方々に役立てて頂けるよう、ますます内容の充実を図る予定です。

情報・システムソサイエティ誌は、情報・システムソサイエティに登録をすれば自動的に送付されます。以下でも更に詳しく御紹介します。

### ISS 達人へのステップ 1

#### 情報・システムソサイエティ (ISS) への登録を

電子情報通信学会では会員は学会のいずれかのソサイエティに属することになっています。

これから学会に入会される方はもちろん、複数のソサイエティへの登録を希望される方も、ぜひ ISS に御登録下さい。なお、複数の登録する場合の ISS ソサイエティ誌及びオンラインジャーナル購読の追加登録料は

3,500 円(学生は 2,000 円)です。ISS への追加登録を御希望の方は、早急に下記の様式で御連絡下さい。

購読のほかに ISS の様々な特典が利用できます。また、ISS 論文誌を購読する場合はステップ 2 を参照して下さい。

### ISS 達人へのステップ 2

#### 情報・システムソサイエティ (ISS) の論文誌は和英 2 種類

基本登録でオンラインジャーナル(和・英論文誌)の閲覧が可能です。追加登録を御希望の方は早急に下記の様式で御連絡下さい。

なお、和文論文誌 D 及び英文論文誌 D のキーワードは下記のとおりです。

#### キーワード：

情報・システム基礎／計算機システム／ソフトウェアシステム／ソフトウェア工学／データ工学、Web 情報システム／情報ネットワーク／ディペンダブルコンピューティング／人工知能、データマイニング／ヒューマンコンピュータインタラクション／オフィスインフォメーションシステム、e-ビジネスモデリング／教育工学／福祉工学

パターン認識／音声、聴覚／画像・映像処理／画像認識、コンピュータビジョン／コンピュータグラフィックス／マルチメディア処理／自然言語処理／バイオサイバネティクス、ニューロコンピューティング／生体工学／音楽情報処理／感性情報処理

連絡先： E-mail: kaiin2@ieice.org Phone: 03-3433-6691(ガイド番号:1) Fax: 03-3433-6659

名前 (会員番号)  
所属  
連絡先 〒  
Phone: Fax: E-mail:  
ISS ソサイエティ追加 (オンラインジャーナルとソサイエティ誌)

\*なお、オンラインジャーナルの閲覧は登録処理後からとなります。  
(現在、英文論文誌 D はオープンアクセス化を実施中です。)

## ISS 達人へのステップ3

## 情報・システムソサイエティ(ISS)所属研究会の年間登録を

ISSには23の研究専門委員会（特別研専を含まない）があり、それぞれが活発に研究会（第一種研究会）を開催しています。2022年には、ISSにおいてのべ114回の研究会が開催され、約2,000件の発表が行われました。2020年度には、研究会参加費の改訂により、研究会にご参加頂きやすくなりました。特に年間参加登録がお勧めです。年間参加登録を行えば、学会Webページのプログラム上に予稿（技報）ダウンロード用のリンクが現れ、参加できない回の方も含めて簡単かつタイムリーに技報を入手できるようになりますので、大変便利です。学生会員は3研究会まで無料で年間参加登録できます！さらに、ISSの全ての第一種研究会への一括参加登録（ひと月あたり1,100円（税込）のコストです）を行えば、当該年度のISSの全ての研究会の技報をWebのプログラム画面から入手できるようになり、極めて快適です。技報オンラインシステム(<https://www.ieice.org/ken/user/>)にログインし（未登録の場合はユーザ登録が必要）、[技報完全電子化]参加費・年間登録費のお支払い/ダウンロード権の購入のリンクからご登録ください。クレジットカード決済または請求書払いが可能です。どうぞ積極的に研究会活動をご活用ください。

表1：研究会参加費

	オンライン申込（税込）		当日現金払（税込）	
	会員	非会員	会員	非会員
一般	1,980 円	2,970 円	2,000 円	3,000 円
学生（注）	500 円	1,100 円	500 円	2,000 円

注：学生で技報電子ファイル不要の場合は、参加費は無料です。

表2：研究会年間登録費（会員の場合）

研究会（記号）	登録費（税込）	委員長
ME とバイオサイバネティクス(MBE)	6,600 円	堀 潤一(新潟大)
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)	6,600 円	戸田 浩之(NTT)
画像工学(IE)	6,600 円	児玉 和也(NII)
言語理解とコミュニケーション(NLC)	4,400 円	吉田 光男(筑波大)
コンピュータシステム(CPSY)	4,400 円	鯉渕 道紘(NII)
コンピューテーション(COMP)	5,500 円	宇野 裕之(阪公大)
人工知能と知識処理(AI)	4,400 円	清 雄一(電通大)
ソフトウェアサイエンス(SS)	4,400 円	岡野 浩三(信州大)
データ工学(DE)	4,400 円	吉田 尚史(駒澤大)
パターン認識・メディア理解(PRMU)	5,500 円	内田 誠一(九大)
ディペンダブルコンピューティング(DC)	6,600 円	土屋 達弘(阪大)
ニューロコンピューティング(NC)	5,500 円	山川 宏(東大)
知能ソフトウェア工学(KBSE)	5,500 円	猿渡 卓也(NTT データ)
音声(SP)	4,400 円	戸田 智基(名大)
教育工学(ET)	6,600 円	渡辺 健次(広島大)
医用画像(MI)	5,500 円	本谷 秀堅(名工大)
ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)	4,400 円	五月女 健治(法政大)
リコンフィギャラブルシステム(RECONF)	4,400 円	佐野 健太郎(理研)
情報通信システムセキュリティ(ICSS)	4,400 円	吉岡 克成(横浜国大)
情報論的学習理論と機械学習(IBISML)	4,400 円	杉山 将(東大)
マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント(EMM)	6,600 円	西村 竜一(NICT)
クラウドネットワークロボット(CNR)	4,400 円	神原 誠之(奈良先端大)
サービスコンピューティング(SC)	4,400 円	木村 功作(富士通)
上記の全ての研究会への一括参加登録	13,200 円	

# FIT2023 第22回情報科学技術フォーラム

## 選奨論文・一般論文 講演募集案内



【会期】2023年9月6日(水)～8日(金)

【会場】大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス ハイブリッド開催(予定)

FIT2023 Web ページ <https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2023/>

受付期間：2023年3月29日(水)～5月10日(水)

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティならびにヒューマンコミュニケーショングループは、情報処理学会と合同で、2002年から毎年秋季に「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2023年9月に第22回目を大阪公立大学 中百舌鳥キャンパスでハイブリッド開催します。

FIT2017より「査読付き論文」を廃止し選奨論文制度を導入しました。論文の種類は、「選奨論文」と「一般論文」があり、「選奨論文」の中から、船井ベストペーパー賞及びFIT論文賞を、「一般論文」の中からFIT奨励賞を選定し表彰します。また、論文の種類に関わらず、若手研究者を対象に優れた発表をした方を選定し、FITヤングリサーチャー賞として表彰します。

### 【FIT論文表彰制度】

船井ベストペーパー賞	選奨論文の中からFIT学術選定委員会で審査の上、3件選定 賞金は船井情報科学振興財団より20万円贈呈
FIT論文賞	選奨論文の中からFIT学術選定委員会で審査の上、7件程度選定 賞金はFIT運営委員会より5万円贈呈
FITヤングリサーチャー賞	2023年12月31日現在で33歳未満の講演者の中から、特に優れた発表をされた方を選定 賞金はFIT運営委員会より3万円贈呈
FIT奨励賞	一般論文のセッション毎に座長の裁量で優秀な発表を1件その場で選定(該当なしもあり) FIT後に賞状贈呈

多彩なイベントが企画され広範な分野の研究者が一堂に会する本フォーラムは、皆様にすばらしい研究成果発表と最新の情報収集の場を提供します。詳細は逐次上記「FIT2023 Web ページ」に掲載いたします。

### ○● 電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ誌編集委員会 ●○

- 副会長(編集会議担当)  
岩野 公司(東京都市大 iwano@tcu.ac.jp)
- 編集委員長  
金子 晴彦(東工大 kaneko@c.titech.ac.jp)
- 編集幹事  
浦 正広(金工大 mura@neptune.kanazawa-it.ac.jp)  
大沼 亮(津田塾大 r.onuma@tsuda.ac.jp)
- 特任編集幹事  
菅谷 史昭(マインドワード fsugaya@mindword.jp)  
松居 辰則(早大 matsui-t@waseda.jp)  
門田 啓(NEC monden@nec.com)  
篠崎 隆宏(東工大 shinot@ict.e.titech.ac.jp)  
林 良一(NTT ryoichi.hayashi@hco.ntt.co.jp)  
神原 誠之(奈良先端大 kanbara@is.naist.jp)  
大塚 真吾(神奈川工科大 otsuka@ic.kanagawa-it.ac.jp)  
坪下 幸寛(杏林大 yukihiro-tsuboshita@ks.kyorin-u.ac.jp)  
日置 尋久(京大 hioki.hirohisa.2x@kyoto-u.ac.jp)
- 企画広報幹事  
山本 琢磨(富士通研 takuma.yamamoto@fujitsu.com)
- 和文論文誌編集副委員長  
佐藤 信夫(ハビネスプラネット nobuo.sato.jn@happiness-planet.org)
- 英文論文誌編集副委員長  
光来 健一(九工大 kourai@ksl.ci.kyutech.ac.jp)

- 編集委員  
山口 智子(神戸大 tomokoy@people.kobe-u.ac.jp)  
永徳 真一郎(NTT shinichiro.aitoku.bf@hco.ntt.co.jp)  
亀田 裕介(上智大 kameda@sophia.ac.jp)  
高橋 寛治(Sansan ka.takahashi@sansan.com)  
木村 睦(龍谷大 mutsu@rins.ryukoku.ac.jp)  
中島 祐人(九大 nakashima.yuto.003@m.kyushu-u.ac.jp)  
太田 唯子(富士通研 yuiko@jp.fujitsu.com)  
小形 真平(信州大 ogata@cs.shinshu-u.ac.jp)  
大塚 真吾(神奈川工科大 otsuka@ic.kanagawa-it.ac.jp)  
三木 亮祐(日立 ryosuke.miki.ah@hitachi.com)  
金子 晴彦(東工大 kaneko@fuji.cs.titech.ac.jp)  
安部川 直稔(NTT naotoshi.abekawa.yu@hco.ntt.co.jp)  
金子 朋子(NII t-kaneko@nii.ac.jp)  
郡山 知樹(サイバーエージェント t.koriyama@ieee.org)  
大沼 亮(津田塾大 r.onuma@tsuda.ac.jp)  
大竹 義人(奈良先端大 otake@is.naist.jp)  
五月女 健治(法政大 saotome@hosei.ac.jp)  
小林 諒平(筑波大 kobayashi@cs.tsukuba.ac.jp)  
伊藤 伸志(NEC i-shinji@nec.com)  
日置 尋久(京大 hioki.hirohisa.2x@kyoto-u.ac.jp)  
神原 誠之(奈良先端大 kanbara@is.naist.jp)  
中口 孝雄(KCGI ta\_nakaguchi@kcg.ac.jp)  
浦 正広(金工大 mura@neptune.kanazawa-it.ac.jp)  
上原 稔(東洋大 uehara@toyo.jp)